

《水稲（有機）栽培における機械整備による産地拡大及び雇用創出プロジェクト》

市町村	天童市	対象地域	蔵増地区	分野	土地利用型作物（水稲（有機栽培・特別栽培））
実施主体名	森谷 茂伸	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	天童市
実施主体構成	個人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	21,164千円（5,644千円）					
	独自の目標項目	水稲栽培面積 1,100 a → 1,500 a 遊休農地 230 a → 0 a					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	15,520千円	15,520千円	16,931千円	18,342千円	19,753千円	21,164千円
	独自の目標項目	栽培面積1,100 a 遊休農地 230 a	栽培面積1,100 a 遊休農地 230 a	栽培面積1,200 a 遊休農地 170 a	栽培面積1,300 a 遊休農地 110 a	栽培面積1,400 a 遊休農地 60 a	栽培面積1,500 a 遊休農地 0 a
プロジェクト概要	◎実施方針	有機栽培及び特別栽培を拡大し、安心安全の食を生産・流通させる。					
	○産出額の増大	栽培面積を拡大し、産出額の増大を行う。					
	○雇用の創出	有機栽培は通常の水稲栽培より手間がかかるため、春及び秋の農繁期のみならず、通年での雇用が必要となる。また、農業大学研修生を雇用し、雇用の同時に新規就農者の育成も併せて行う。 H25:年間雇用創出効果（増加分） 497人日/年					
	○創意工夫	新しい機械の導入により、有機栽培の効率化を行うことで、有機栽培面積の拡大を図る。					
	○実現性	20年以上前から有機栽培・特別栽培を行い、10年ほど前から直接販売を行っており、流通経路が確立しているため、生産量が増大しても確実な販売が見込める。					
	○地域への波及効果	遊休農地の解消（H21年度までで約200 aを解消）及び研修生の研修修了後の地域への定住（21年度は2名の実績）					
	○その他	新規就農者の育成を行い、平成21年度は3名を育成。うち2名が地域へ定着。					

計事業		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	籾摺機、選別機、乗用除草機、田植機	
備考	有機栽培用の乗用除草機を県内で始めて導入し、さらに籾摺り機、選別機、田植え機を増設することにより、水稲の栽培面積の増大に対応する。		